



地下鉄短信 (第396号) 平成31年2月12日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 ○ 「第13回土木部会」の開催

○「第13回土木部会」を開催しました。

去る2月8日(金)に、東京メトロの総合研修訓練センターにおいて、東京地下鉄(株)、東京都交通局をはじめとする14事業者27名と(公財)鉄道総合技術研究所から4名の参加を得て、第13回土木部会を開催しました。

今回会場となった東京メトロ総合研修訓練センターは、運転実習線、模擬駅、トンネルなどの研修施設に加え、運転士や車掌の訓練用の運転シミュレーターや実際の駅業務の訓練に用いるステップアップステーションセンターなどを有する総合的な訓練センターです。

まず、今回は、東京メトロが独自に開発した「ICTを導入した土木構造物の維持管理システム」についての研究討議を行いました。

この維持管理システムは、iPadを現場に携帯し、現場内の状況を記録しながら、前回検査の変状と比較することで、コンクリートの構造物の劣化状況の判定を行うもので、判定した結果は即座にサーバーに登録され、翌日には全員が情報を共有することが可能となります。このサーバーに登録されたデータを活用して、日常の補修計画や大規模補修計画を作成するシステムを構築するとともに、変状状況や修繕状況の可視化などにも活用しているものです。



(第13回土木部会会議風景)



(第13回土木部会トンネル現場風景)

次に、運転実習線内のトンネルに移動して、3班に分かれて、実際にiPadを使ってコンクリート構造物の主な変状についての判定方法の実演が行なわれました。東京メトロでは、ARを活用した人材育成に取り組んでおり、その研修に使用するiPadの活用方法について座学のない経験ができました。その後、隣接する橋りょう施設についても、iPadの活用方法についての説明が行われました。

最後に、東京メトロのシステムの他社局への展開の可能性や、検査の判定方法についての質疑応答を行い、研修会を終了しました。

今回の研修会終了後、運転シミュレーターやステップアップステーションセンターなどの施設も見学する機会を得て、運転シミュレーターでは運転台で実際に模擬運転をするなど、充実した研修内容となりました。

最後に、研修施設を提供していただいた東京メトロの関係者の皆様のご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

NHK「**千コちゃんに 叱られる!**」で、地下鉄の話が放映されます。

放送日; **2月15日(金) 午後7時57分～**

再放送日; 2月16日(土) 午前8時15分～

(地域により放送時間が異なる場合があります。)

「東京の地下鉄の謎に迫る」など、いつものように盛りだくさん。職場や学校でぜひ話題にしてください。家族みんなで楽しめること間違いなし、ぜひご覧ください。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp